

船橋市商工業戦略プラン（素案）に対するパブリック・コメントの結果について

船橋市商工業戦略プラン（素案）について、下記のとおり市民・事業者の皆様から多数のご意見をお寄せいただきました。この度、お寄せいただいた意見及び本市の考え方について次のとおり取りまとめましたので公表いたします。

パブリックコメント概要

(1) 期 間 令和7年12月15日（月）～令和8年1月14日（水）

(2) 閲覧場所 ①商工振興課
②行政資料室
③出張所及び連絡所、公民館、図書館
④船橋駅前総合窓口センター
⑤市ホームページ

(3) 意見提出方法 ①持参
②郵送
③FAX
④電子メール
⑤スマート申請（オンライン申請）

(4) 集計結果

提出者（団体）数	意見数
5件	9件

船橋市商工業戦略プラン(素案)に対する意見の要旨と市の考え方について(案)

NO	分野	該当ページ	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方
1	DX推進について	P.12 DXに取り組んでいる企業は2割程度 P.27 デジタル化・DXの推進	DX推進は基本戦略2の重点施策だが、市内でDXに取り組む企業は約2割に留まり、知識・情報不足が未着手の主因とされている。 これを踏まえ、「ITシリーズセミナー」を入口として、①簡易診断による課題の可視化、②IT専門家による個別伴走支援、③既存補助制度と連動した初期投資支援という段階的な導線を整備し、未着手層が実装へ進める仕組みを構築すべき。	実際、DXの取り組みに至っていない市内事業者の割合は多く、その要因としてDXの知識や情報の不足が大きな課題であると認識しております。本戦略プラン内に例示している「ITシリーズセミナー」につきましては、単発の啓発にとどまらず、事業者が実際の業務での活用へ進むための入口として機能させることが重要であると考えております。 今後、具体的な事業展開をする際には、ご意見にある簡易診断による課題の可視化、専門家による伴走支援、既存補助制度との連動といった段階的な仕組みも含め実効性のある支援策について検討してまいります。
2	(仮称)小室インターチェンジ周辺地域のポテンシャル及び創出に向けた課題	P.29～31 産業用地等の活用と創出(検討)	(仮称)小室インターチェンジ周辺は高いポテンシャルを有する一方、道路整備の不透明性や農地転用、都市計画上の課題が存在する。 計画期間内に「検討」から「実行」へ移行するため、関係部局や民間と連携し、年次目標を明確にした工程表を計画に位置づけることが重要。	(仮称)小室インターチェンジ周辺は、本市としても将来的なポテンシャルを有する重要なエリアであると認識しております。一方で、将来的な産業用地の創出にあたっては、周辺環境への配慮や自然との調和が不可欠であります。特に当該エリアには、農業振興地域が広がっているほか、都市計画法上の課題など、複数の課題が関係することから、慎重な調整が必要となっております。 よって、本戦略プランの計画期間においては、関係機関や庁内関係部署等と連携し、(仮称)小室インターチェンジ周辺を取り巻く状況を把握しながら、北部地域の土地利用について調査・研究してまいります。 なお、北千葉道路の開通時期が不明のため、具体的な工程表を本戦略プランに位置づけることは現段階では難しいと考えております。
3	観光分野における地域経済への波及について	P.16 市内の施設・イベント・グルメの経験度 P.21 地域特産品等の知名度・ブランド力の向上 P.36 地域資源の磨き上げとブランド化	高集客施設と認知度の低い地域特産品を戦略的に連携させ、常設販売や共同プロモーション等を通じて消費行動につなげる施策を強化することで、地域経済への波及効果を高めることが期待される。	高集客施設と地域特産品等を戦略的に結び付けて消費行動へとつなげていく視点は、観光による経済波及効果を高める上で重要であると考えております。 そのため、本戦略プランにおいても、地域資源の磨き上げやプロモーション強化を中心に施策を進めることを記載しております。 今後、船橋市観光協会など関係団体へのヒアリングを行いながら具体的な検討を行う際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

船橋市商工業戦略プラン(素案)に対する意見の要旨と市の考え方について(案)

NO	分野	該当ページ	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方
4	DX推進やIT人材育成について	P.27 企業の持続的成長の促進	<p>DX推進やIT人材育成の重要性が随所で言及されてるが、それらを実際の産業活動につなげるための具体的なIT関連事業計画が十分に示されていない点に課題を感じる。</p> <p>DXを重要視するのであれば、単なる支援施策や意識啓発にとどまらず、どのようなIT事業を市として育て、どの分野で市内産業の競争力向上につなげていくのか、より具体的に示す必要がある。</p> <p>本市は東京近接性を背景に、世界市場や首都圏の最前線で実務を担うIT人材や、専門技術者が直接指導する育成環境が存在しているが、現状、具体的な人材育成指標が示されておらず、市主体の子ども向けIT教育についても、マニュアル中心となる傾向が見られ、実際の現場で求められる能力と乖離しているケースが見受けられる。</p> <p>また、市のIT関連事業発注が市外・遠隔地事業者流れやすく、市内人材が育成されても、市内事業者の成長や地域内での資金循環につながりにくい状況がある。</p> <p>初期段階で市外事業者に委託することは理解できるが、中長期的には市内でIT事業者やチームを育成し、国内外で競争できる産業基盤を形成していくことが、持続的な地域経済の発展につながると考えられる。</p> <p>そのため、市内に既に存在するIT分野の実務経験者や専門性を有する人材に目を向けていただき、今後は、単なる「IT人材育成」や「DX支援」にとどまらず、市内事業者・市内人材・市内案件が循環する仕組みを、IT・デジタル分野において、調達・発注・事業創出の観点から具体的に位置づけることが不可欠である。</p>	<p>DXを市内産業の競争力向上につなげるためには、いただいたご意見のとおり、単なる支援施策や意識啓発にとどまらず、実務・市場・事業創出を見据えた取り組みが重要であると認識しております。</p> <p>一方で、本市の立場は、IT関連事業そのものを企画・実行し、特定分野のIT産業を直接育成・運営する主体ではなく、市内事業者がそれぞれの経営状況や目指す姿に合わせてDXやデジタル活用に取り組むことを後押しする「支援者」としての役割にあります。</p> <p>そのため本戦略プランでは、国・県・民間事業者、教育機関等と連携し、情報提供、相談体制の整備、マッチング機会の創出などを通じて、市内事業者や人材が主体的に成長できる環境づくりを整えることを重点に置いております。</p> <p>このことから、デジタル化・DX推進に関する内容は原案のとおりとさせていただきますが、いただいたご意見については、庁内関係部署へ情報共有するとともに、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

船橋市商工業戦略プラン(素案)に対する意見の要旨と市の考え方について(案)

NO	分野	該当ページ	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方
5	戦略プランの推進組織の設置について	P.40～43 計画の推進体制	<p>戦略プラン推進会議が商工団体や支援機関、行政が中心であり、計画の影響を直接受ける市民や、市内のIT専門人材の参加が見受けられない。市外在住有識者の知見は参考としつつ、最終的な意思決定については、住民票を有し、地域経済に実体的に寄与し、その結果に責任を負う市民が担う体制とすることを検討してほしい。</p> <p>特にIT分野では、資格や学歴よりも、課題を構造的に捉える思考力が重要である。「エンジニア」に限らず、プランナーやマネージャー、営業など、市場全体を見据えられる人材が不可欠であり、こうした現場目線で本当に必要とされる人材像について、船橋在住のIT専門職の意見が、今後の施策に反映されることを期待する。</p>	<p>本戦略プランを推進するにあたり、様々な立場の方々から意見を取り入れることは、計画の実効性を高めるために大変重要なものと考えております。</p> <p>いただいたご意見は、本戦略プランの推進体制や今後の意見聴取の仕組みづくりに活かしてまいります。</p>
6	船橋市北部の開発について	P.29～31 産業用地等の活用と創出(検討)	<p>船橋市北部の開発を検討する際は、未来の船橋市(千葉県)を支える地域として、また将来的な立地適正化も見据えた計画を立てていくべきである。</p> <p>また、船橋市北部は白井や八千代北部とも隣接していることから、ポテンシャルを最大化するためにも千葉県と密な連携をとるべきであり、そのため、県が定めた「高速道路インターチェンジ等を生かした多様な産業の受け皿づくりを進めるための計画的な土地利用の促進に係る基本方針」を活用する旨を、本文中に追加して欲しい。</p>	<p>船橋市北部における開発の推進については、いただいたご意見のとおり、千葉県と連携をとることは重要なことと考えられますので、該当ページにその旨を追加することといたします。</p>
7	関係各所へのヒアリング調査について	P.47～50 小室インターチェンジ周辺の産業用地としてのポテンシャル調査	<p>市内企業と範囲を狭めずにサウンディング調査を行い、広く意見を集めることで船橋市の産業規模の拡大が狙え、より良い計画が立てられると考えるため実施すべき。</p> <p>また、千葉県を巻き込んだ開発にすることができれば、柏の葉や木更津のように外資や県外からの大手企業を誘致できる可能性があるため、県に対してもヒアリングをするべき。</p> <p>クボタスピアーズのホームグラウンドが東京都にあるが、こうしたプロスポーツの団体にも同様のヒアリングをしていただき、北部に新しい観光資源を誘致できないか検討して欲しい。</p>	<p>本戦略プランの策定にあたっては、まず地元のニーズを把握するため、市内製造業を中心とした意向調査を実施いたしました。ご指摘のとおり、産業規模を飛躍的に拡大させるためには、市外の企業や外資系企業を含む多様な事業主体の視点が不可欠であると認識しております。</p> <p>今後、北部地域の土地利用も含めた産業用地の創出に関する検討を進める上で県などの関係機関のほか、ご意見にあった市外企業などへのヒアリングを行いたいと考えております。</p>

船橋市商工業戦略プラン(素案)に対する意見の要旨と市の考え方について(案)

NO	分野	該当ページ	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方
8	船橋市地方卸売市場経営戦略	P.3 各種関連計画	市場の施設(ハード部分)のみを改修するだけでは、将来にわたって活力ある市場運営を継続させていくことは困難な状態に陥ると危惧している。市場の組織体制(ソフト部分)の見直しも同時並行で進めるべき。	本戦略プランは、市内の商工業全般の振興方針を定めるものであるため、市場の組織改編等の個別具体的な事項については、本戦略プランへの直接的な記載は見送ることいたしました。 なお、いただいたご意見は、市場を所管する部署へ情報共有させていただきます。
9	船橋市北部への意見	P.29～31 産業用地等の活用と創出(検討)	要望①『小室駅南側通路はないため南側通路建設』 要望②『未開拓の駅近を活かした特に小室駅南側周辺へのバスターミナル、インバウンド誘致や住居、商業施設等の誘致を要望』 要望③『先行して北千葉道路小室ICランプ整備を要望』 要望④『北総鉄道、京成アクセス特急の始発、終電の時間拡幅』 ※意見全文は別添	本戦略プランにおいては、まずは市内の産業用地創出の観点から、(仮称)小室インターチェンジ周辺の土地利用の検討や、地域資源を活かした観光振興施策の一つとして北部地域のエリアプロデュースを掲げております。 ご要望いただいた小室駅南側の開発、農業振興地域の見直し、住宅地の整備、およびバスターミナルの誘致等につきましては、都市計画や農業行政、公共交通政策などの個別施策に関するものとなりますので、多岐にわたる調整が必要となります。 また、鉄道の運行時間拡大につきましても、交通事業者や関係機関との緊密な連携が不可欠です。 いただいたご意見は、市としても重要な課題と考えておりますので、庁内関係部署とともに検討していきたいと考えております。

船橋市商工業戦略プラン（素案）への意見提出書 船橋市北部への意見

【懸念と改善の要望】

①29年度竣工を予定している成田機能強化により今後国道464.16号の更なる交通量増加が予想され、通学路でもある小室町内小室公民館前の県道小室停車場複線道路の大型車流入増加を当地区連としても非常に懸念しています。近年でもすでに非常に増えている状況です。事故が起こっては遅いので早急な対応をお願いしたいです。

②倉庫、データセンターや墓地、スクラップ置場などの小室駅付近にそぐわない開発が行われていたり、今後懸念されます。このような施設では車通勤などが多くなり税収は増えても駅利用者は増えずに北部の地域経済活性化にはなりません。

駅近の土地にデータセンター建設等、印西でも問題となっていますので計画的な駅周辺に似合った開発を要望致します。

③小室駅南側通路がなく農振も広がっていることにより駅近の土地活用やポテンシャルが活かせていない。

④小室駅南側通路がなく、成田空港からアクセスがいいがアンデルセン公園最寄駅として利用客が少なく、アクセスがしにくい。

⑤小室駅北側商店街の衰退や高齢化やそれに伴う、小室駅乗降客数の減少

⑥小室駅南側の耕作放棄地

【懸念に対する要望】

要望① 『小室駅南側通路はないため南側通路建設』

要望② 『未開拓の駅近を活かした特に小室駅南側周辺へのバスターミナル、インバウンド誘致や住居、商業施設等の誘致を要望』

アンデルセン公園の最寄り駅で交通の要衝でもありますが南側通路がなく農振も多いため全く活かせていません。インバウンドを取り込めるような施設の整備を希望します。

小室駅周辺はトランジット客、ゴールデンルートとなり得る、インバウンドの取り込みが見込めるポテンシャルが非常に大きいエリアであり、北千葉道路有料と無料の間のエリア、埼玉等～空港間を走る高速バスも増えると思料される北部エリアは国の推進するバスタP J誘致も見込めるエリアです。

北千葉道路の小室以西の計画がまだでも近年開通した以東区間の開通効果もあり駅旅客も

含め素通りの通過交通が非常に多いエリアで北千葉道路成田区間も事業中で、北環状線や千葉北西連絡道路、鉄道は都心直結線を検討の報道もあり、都心や成田、羽田空港、新幹線の品川駅、さらにはリニアの泉岳寺駅へのアクセスもよく、利便性が非常に良いです。

さらに成田空港は29年度竣工を予定しており空港旅客以外にも工事関係者、空港従事者の増加や16号、464号、鉄道駅がある等交通の要衝として船橋北部の街づくりは市の将来設計において非常に重要なエリアです。

私自身、空港や開発等に精通した仕事を行っていますが、空港周辺で住居や商工業等を整備するという話も出ていますが、利便性の高い小室も十分機能強化の恩恵が得られるエリアです。

工場等では車通勤や企業バスが多くなり駅利用者が増えないため住宅地や商業施設、例えばテーマパーク等、今住まわれている小室町の住民や働きに来る方以外の方が鉄道や車で立ち寄れて住みたくなる街づくりを要望します。

要望③ 『先行して北千葉道路小室ICランプ整備を要望』

大型車の464～16号間の交通アクセス改善を早期にお願いします。

464～16号間が未完成となっており、一部大型車通行禁止もあります。

さらに、北環状線も開通時期が未定のことから小室駅前公民館前の県道を通行する大型車が近年非常に増えています。事故が起こってからでは遅いので早急な整備をお願いします。北千葉道路の開通がまだだからと市や市議会としても小室周辺の開発に注力できていないように感じますので北千葉道路のICランプの方向性を示すことにより北部の早期活性化に繋がるものと考えます。

船橋都市計画道路に関する千葉県都市計画公聴会の開催結果について／千葉県



←県 HP

令和元年10月20日に開催された公聴会でも県に要望し、今後検討しますと回答をいただきましたが、進展していませんので市からも強く要望をお願い致します。

要望④ 『北総鉄道、京成アクセス特急の始発、終電の時間拡幅』

2019年に成田空港の離発着時間が6時～0時まで延長となったが鉄道の始発、終電が早く、間に合わず飛行機旅客も空港従事者も空港アクセスが不便となっているため要望します。

これにより船橋北部の利便性も向上し商業誘致等本市にとって大きなプラスとなると考えます。

以上、宜しくお願い致します。